



12/16(火)



中学生・後期課程生が議員になりきって コミュニティ・スクール議会

占冠村総合センター議場で「コミュニティ・スクール議会（CS 議会）」が開催されました。この取り組みは、占冠中学校とトマム学校の生徒たちに議会の仕組みを理解してもらうとともに、積極的な村政参加を促すことを目的としており、今回で8回目の開催となります。昨年同様、生徒8人が議員役（CS 議会議員）として一般質問を行い、児玉議長は通常の議会と同様に



議長役を務め、大谷副議長をはじめ村議会議員6人が議員個々の立場で答弁を行いました。進行は本番の議会さながらで、緊張感のある厳粛な雰囲気になりました。CS 議会議員からは、ごみの問題や環境保全、再生可能エネルギー、避難経路の安全性、ヒグマ対応、アスペン市との姉妹都市交流事業、観光客誘致など、村の将来に関わるさまざまな質問や意見が出されました。限られた時間の中で活発な議論が繰り広げられ、生徒たちにとっても、また村議会にとっても、村政について考える貴重な機会となりました。

12/1(月)



持続可能な森づくりのために 基本合意書を締結しました

株式会社 NTT ドコモ（東京都）と株式会社 テミクス・グリーン（東京都）、占冠村の3者により「持続可能な森づくりに関する基本合意書」を締結しました。この基本合意書はゼロカーボンの実現を目的として、株式会社 NTT ドコモの技術を活用した林業機械による実証、村有林の整備および環境保護活動を可視化・発信するなどの事業に取り組むとともに、株式会社 テミク



ス・グリーンの林政・林業ソリューションを活用した林政・林業分野の DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するものです。具体的には、村有林整備による二酸化炭素吸収量の増加を活用した J-クレジットの創出、スマート林業機械の実証、スマート林業の推進による作業効率化の実現、村内の児童生徒を対象とした環境教育の充実などを連携して進めることを定めています。今後は、村有林の二酸化炭素吸収量に関する詳細調査を実施の上、事業ごとに覚書を締結し、段階的に事業を進めていきます。

12/20(土)



本格的なそば打ち体験 手打ちそば教室

占冠村コミュニティプラザで「手打ちそば教室」が開催され、参加した6人が本格的なそば打ちに挑戦しました。講師は、長年そば打ちに取り組み、指導経験も豊富な松浦博さん（字中央）。そば粉のこね方から生地伸ばし方、包丁での切り方まで、一つ一つ丁寧に教わりました。太さをそろえる難しさに笑い声も上がり、終始和やかな雰囲気の教室となりました。

12/15(月)



統計調査の推進に寄与 江頭恵美さんに感謝状

統計功労者として北海道知事感謝状（10 年級）を受賞された江頭恵美さん（字上トマム）に対し、田中村長から感謝状が伝達されました。江頭さんには、国勢調査をはじめとする重要な統計調査において、的確かつ丁寧な調査にご尽力いただきました。本村の統計行政の発展に貢献されたそのご功績に対し、深く感謝申し上げます。

12/4~5(木・金)



お餅をついて世代間交流 ふれあいもちつき会

占冠村社会福祉協議会主催の「ふれあいもちつき会」が12月4日に占冠村コミュニティプラザで、5日にトマムコミュニティセンターで開催されました。両会場ともに、幼児からお年寄りまで幅広い年齢層の方々の参加がありました。子どもたちは、重たい杵を一生懸命持ち上げて餅をつき、その姿に会場からは温かい声援と笑顔があふれました。

11/22(土)



藤女子大学とのコラボ企画 子どもクッキング教室

占冠村コミュニティプラザで、藤女子大学と占冠村公民館による食育料理教室「子どもクッキング教室」が実施されました。占冠村で毎年開催されている「山菜料理コンクール」から派生した企画で、子どもたちは、フキとメープルシロップを使ったホットケーキを作りました。調理後は食育講座が行われ、食品に含まれる栄養素とその働きについて学びました。